

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局 地域道路課
担当課長名： 春 田 義 信

事業名	主要地方道 <small>にしのおもてみなみたね</small> 西之表南種子線	事業区分	地方道	事業主体	鹿児島県	
起終点	起点：鹿児島県西之表市現和 終点：鹿児島県西之表市立山	延長	10.8km			
事業概要：本路線は、種子島の海の玄関口である重要港湾西之表港へアクセスする幹線道路であるとともに、島の東海岸沿いを縦断する観光ルートであり、また災害時には国道58号の代替路線として緊急輸送道路にも指定されている。しかしながら、当該箇所は幅員狭小線形不良のうえ、沿線には小・中学校があるにもかかわらず歩道もないため、道路の整備を行い、安全で円滑な交通を確保を図るものである。						
H10年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H10年度用地着手	H10年度工事着手			
全体事業費	73億円	事業進捗率	85%	供用済延長	7.1km	
計画交通量	1,000台/日					
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1.1 (残事業) 2.6	総費用： (残事業)/(事業全体) 12/94億円 (事業費：9.4/84億円 維持管理費：2.4/10億円)	総便益： (残事業)/(事業全体) 30/105億円 (走行時間短縮便益：29/101億円 走行費用減少便益：0.79/3.8億円 交通事故減少便益：0/0.26億円)	基準年： 平成19年		
事業の効果等 ・隘路区間が解消され、走行性が改善されることにより、住民生活の利便性が向上する。また、歩道の設置により、通学等歩行者の安全が確保される。 ・消防活動や緊急患者の搬送等、緊急車両の安全で円滑な走行が可能となる。						
関係する地方公共団体等の意見 ・地元西之表市および地域住民も道路整備の必要性は認識しており、早期完成を要望している。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし						
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業の進捗は85%（事業費ベース）であり、これまでに7.1kmの供用を行っている。残る未整備区間3.7kmについても、継続的な用地交渉を行っている。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 全体としては計画通りに進捗しているが、工事においては計画延長が長くまた地形が急峻な区間もあり、橋梁などの構造物に期間を要している。今後も計画的に整備を進めていく予定である。						
施設の構造や工法の変更等 歩道幅員の見直しを行うなどコスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上状況を勧案すれば、当初から事業の必要性重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図 全体延長 L=10.8km 整備済区間 L=7.1km 未整備区間 L=3.7km						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。